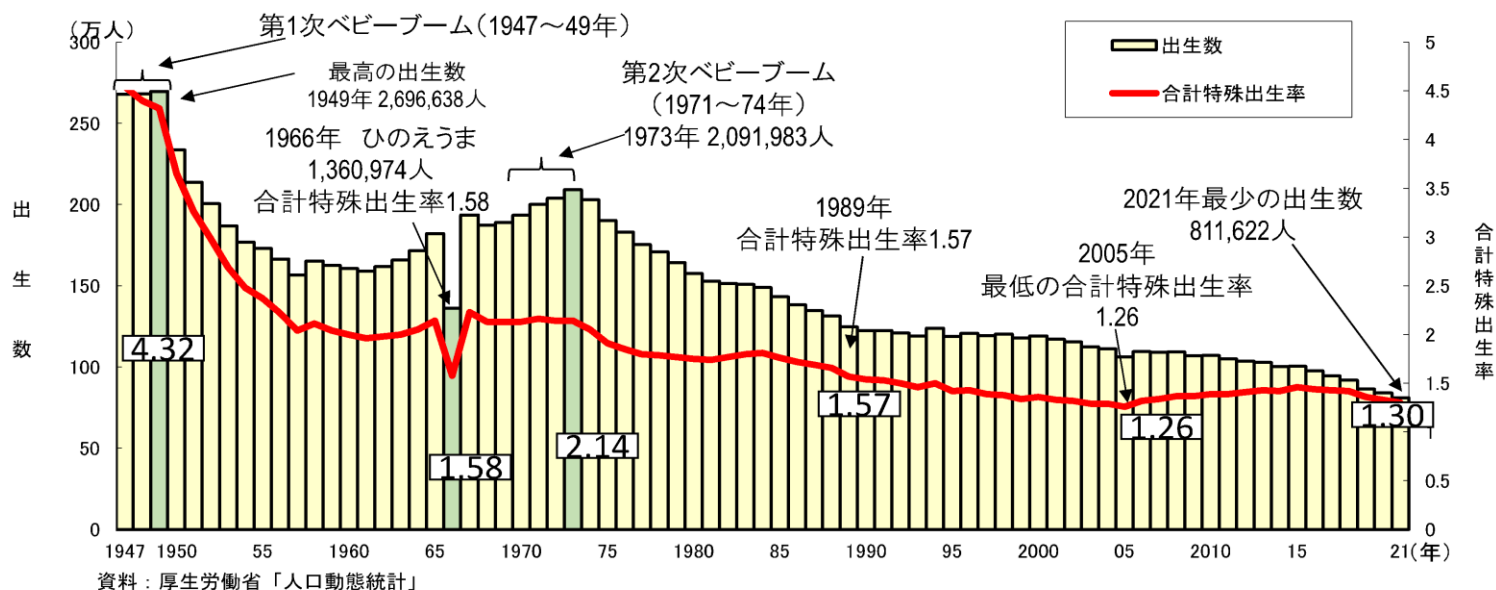


# 全国の出生数と合計特殊出生率の推移

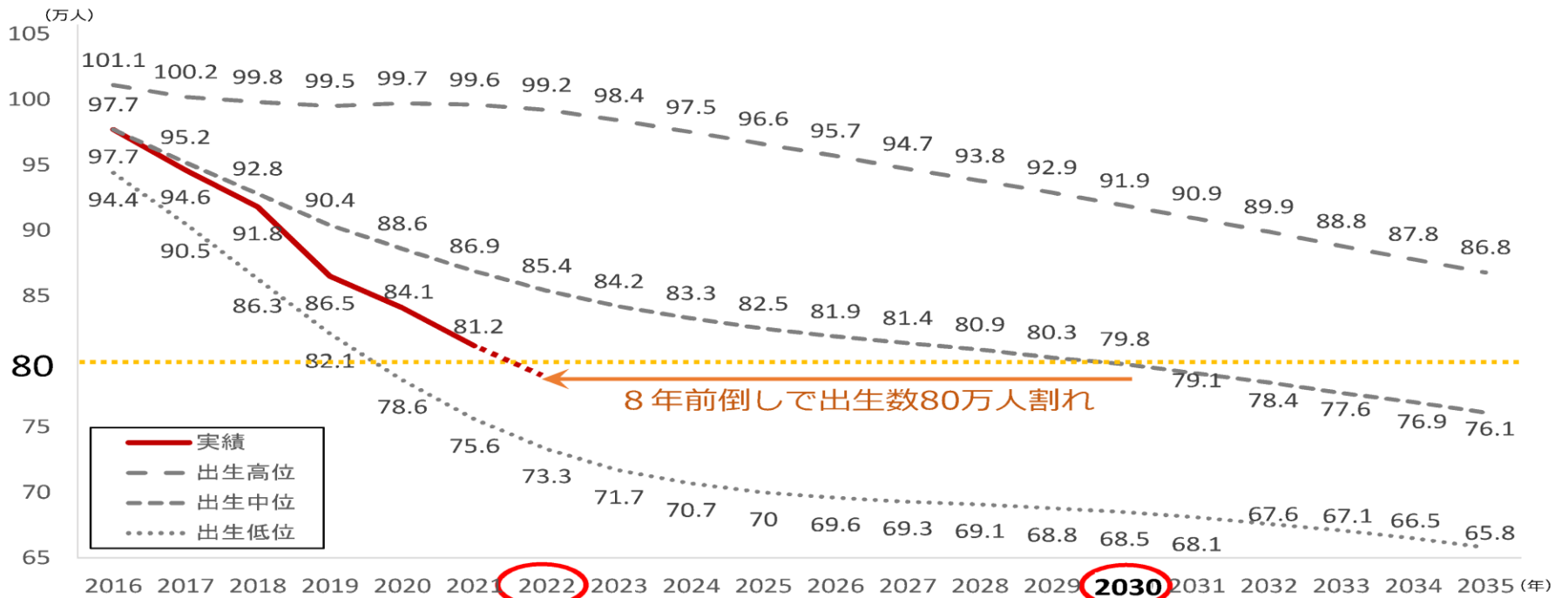
- 2022年（令和4年）の出生数は77万747人
- 対前年同期比▲5.1%となり、**初めて80万人を下回った**

年	1949年	1973年	1989年	2005年	2021年	2022年
出生数	269万 6,638人	209万 1,983人	124万 6,802人	106万 2,530人	81万 1,622人	<b>77万747人</b>
合計特殊出生率	4.32	2.14	1.57	1.26	1.30	<b>1.26</b>



# 全国の出生数と将来推計人口との比較

○将来推計人口では、出生数が80万人を割り込むのは2030年  
 ⇒**8年前倒しで出生数80万人割れ**



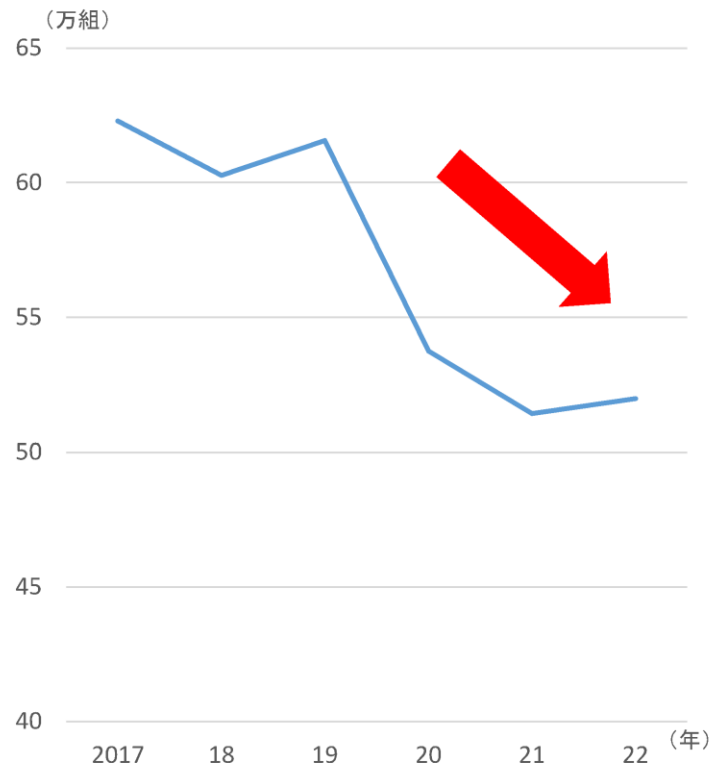
外国人等を含む速報値は 79万9,728人  
 日本における日本人人口は6月上旬公表予定  
 (2021年実績での外国人等の出生数は約3.1万人)

(注) 上記の推計人口・実数は日本における日本人人口。  
 (出所) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2017年推計)」、厚生労働省「人口動態統計」。

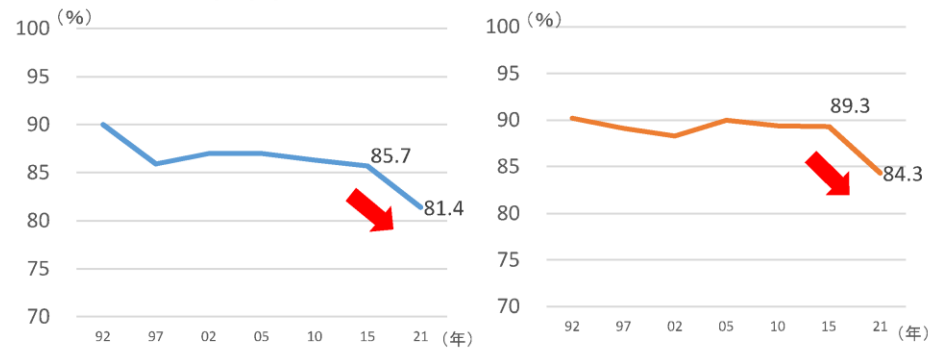
# 婚姻件数・平均希望子ども数の減少

- コロナ禍の3年間で、**婚姻件数は10万組減少**
- 未婚者の**結婚希望や希望こども数も大幅に低下・減少**（特に女性）

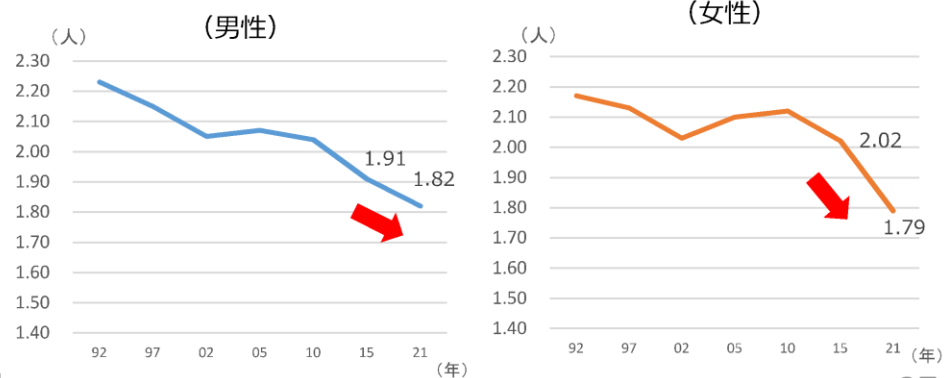
婚姻件数の推移（速報値ベース）



未婚者のうち「いずれ結婚するつもり」と答えた者の割合



未婚者の平均希望こども数

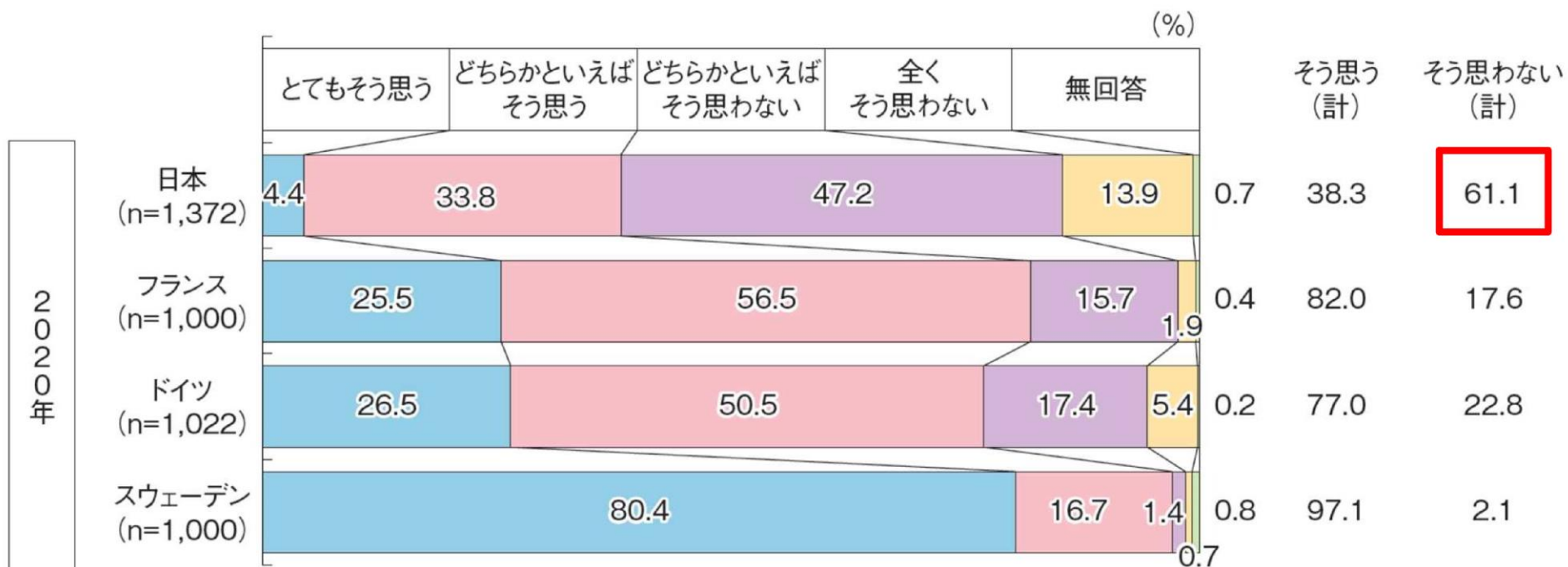


資料：厚生労働省「人口動態統計」、国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」

※「出生動向基本調査」：第10回（1992年）、第11回（1997年）、第12回（2002年）、第13回（2005年）、第14回（2010年）、第15回（2015年）、第16回（2021年）

# 自国は子どもを生き育てやすい国だと思うか

○「自国は子どもを生き育てやすいと思うか」との問いに対し、  
**日本では約6割が「そう思わない」と回答**



資料：内閣府「令和2年度少子化社会に関する国際意識調査」（2021（令和3）年3月）

※百分率は、小数点第2位を四捨五入して、小数点第1位までを表示。このため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。

# 結婚や子育てに温かい社会の実現に向かっているか

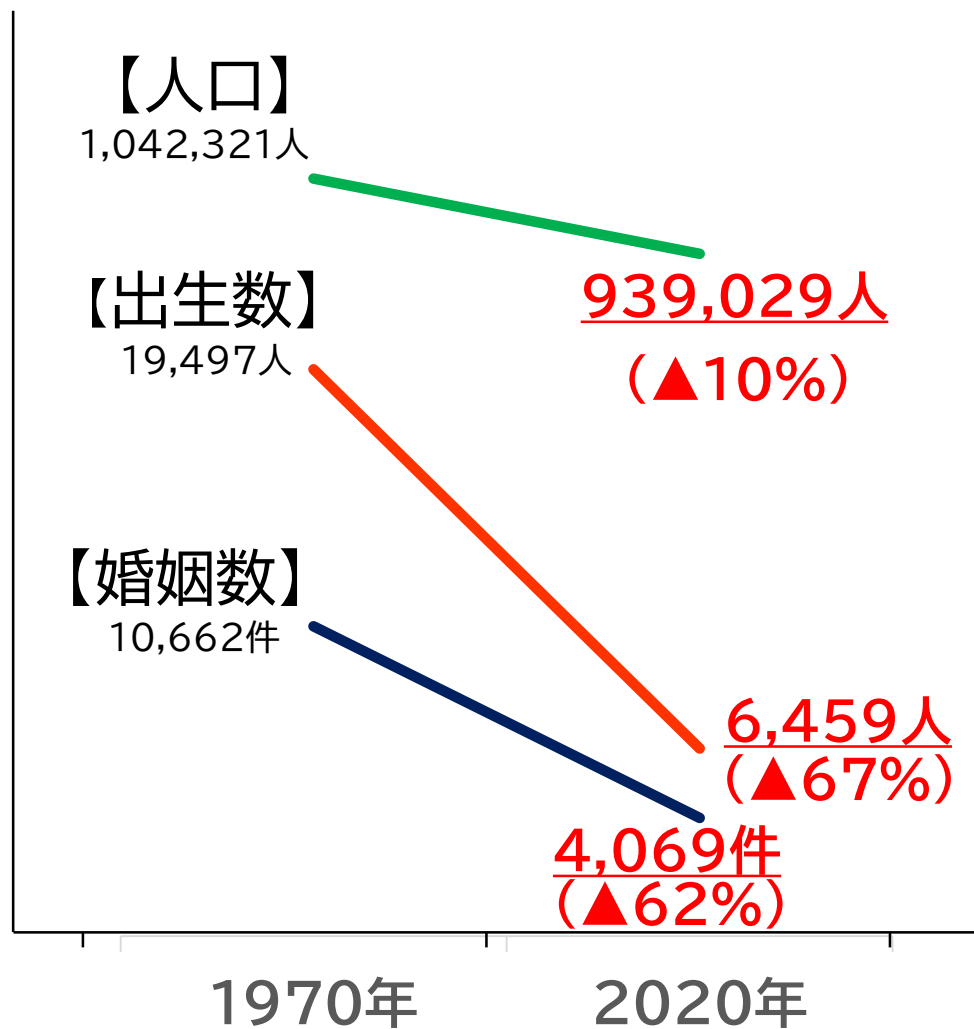
○「日本の社会が結婚、妊娠、こども、子育てに温かい社会の実現に向かっているか」との問いに対し、**約7割が「そう思わない」**

日本の社会が結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっていると考えるか (%)

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
TOTAL (n=11889)		2.3	27.4	44.1	26.2
合計 (n=5914)		2.7	28.5	42.4	26.4
20-29歳 (n=1146)		4.6	31.5	38.8	25.0
男性	30-39歳 (n=1425)	2.9	27.6	41.2	28.4
	40-49歳 (n=1807)	2.2	26.9	44.7	26.2
	50-59歳 (n=1536)	1.8	29.1	43.4	25.8
	合計 (n=5975)	2.0	26.2	45.8	26.0
20-29歳 (n=1143)		2.1	27.6	44.9	25.4
女性	30-39歳 (n=1417)	2.0	23.4	44.2	30.4
	40-49歳 (n=1850)	1.8	23.0	49.0	26.3
	50-59歳 (n=1565)	2.1	31.6	44.2	22.1

資料：内閣府「少子化社会対策に関する意識調査」（2019年3月） ※対象：20～59歳の未婚及び既婚の男女11,889人

# 北九州市の人口・出生数・婚姻数の推移



この50年で、

- 人口 ➤ 90%
- 出生数 ➤ 33%
- 婚姻数 ➤ 38%

まで減少